

○それぞれの俳句の季語とその季節を答えなさい。ただし季語がない場合には

どちらにも×を記入しなさい。

【A】 どの子にも涼しく風の吹く日かな

【B】 いくたびも雪の深さを尋ねけり

【C】 跳箱の突き手が一瞬冬が来る

【D】 たんぽぽのぽぽと絮毛のたちにけり

【E】 分け入っても分け入っても青い山

【F】 赤い椿白い椿と落ちにけり

【G】 バスを待ち大路の春をうたがはず

【H】 萬緑の中や吾子の齒生え初むる

【I】 飛び込みのもう真っ白な泡の中

【J】 くろがねの秋の風鈴鳴りにけり

【K】 金剛の露ひとつぶや石の上

【L】 冬菊のまとふはおのがひかりのみ

【M】 流れ行く大根の葉の早さかな

【N】 咳をしても一人

L		G		A	
冬	冬菊	春	椿	夏	涼しく
M		H		B	
冬	大根	夏	萬緑	冬	雪
N		I		C	
×[冬]	×[咳]	夏	飛び込み	冬	冬
		J		D	
		秋	秋	春	たんぽぽ
		K		E	
		秋	露	×	×